【次世代研究者挑戦的研究プログラム事業】

同志社大学大学院博士後期課程
次世代研究者挑戦的研究プロジェクトについて

2023年度新規公募　説明資料

プロジェクトの概要

選抜

同志社大学大学院の全研究科

10名

教育の場としての選考プロセス

大学院博士課程の学び

能力開発

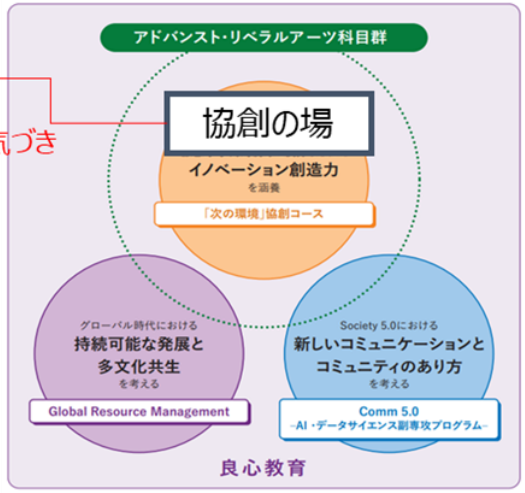
《専門分野の学び》 ＋ 《アドバンスト・リベラルアーツ科目群》

挑戦的・融合的研究

協創による気づき

所属
研究科
における研究

研究基礎力
・英語論文執筆
・英語研究発表、等



テーマ探索型教育と共同研究型インターンシップ創出

キャリア開発

海外インターンシップ・海外留学・海外交流

キャリア形成ガイダンス

企業交流会・研究発表会

その他支援

博士キャリア・コーディネーター体制による総合的支援

博士後期課程若手研究者育成奨学金(年間学費相当額)

「社会イノベーター」へ

（能力・コンピテンシー）

普遍的な見方から全体像を捉える能力 **俯瞰力**	課題探求性
文系理系・分野を越えた複数の深い専門知を組み合わせながら事象にアプローチできる能力 **総合力**	協働性 多様性受容
未来を読み解く視座 **創造力**	
良心を支柱に人間社会の将来のあり方を模索 **提案力**	挑戦性
研究力	論理思考
良心　国際性	etc.

特別任用助教・特別任用助手（有期研究員）制度

経費支援内容

研究奨励費（生活費相当額）：**１８０万円／年**

研究費（実費）：**４０万円／年**

(参考) 若手研究者育成フェローシップ制度：
生活費相当額：180万円／年
研究費：20万円／年

上記以外、事業統括配分経費（実費）

挑戦的・融合的研究加速経費：**最大３０万円／1人**
（プロジェクト内競争的資金）

海外渡航費：**４０万円／1人**　（全員）

研究支援内容

✓ 研究力強化支援

専門分野研究を自らコーディネート、マネジメントする能力を養成する研修

→ 研究の将来像を描けるか？研究の位置付け、比較検討ができるか？

✓ アドバンスト・リベラルアーツ科目群：「次の環境」協創コース

将来世代の視点に立った技術アイディアを発想、「共創」するカリキュラム「フューチャーデザイン演習」を履修

→ 参画企業との人的ネットワーク構築、企業の研究者へのキャリアパスへ

✓ **プロジェクト内競争的資金（挑戦的・融合型研究加速経費）**

自身の研究テーマをより挑戦的・融合的な研究、企業との共同研究への発展計画を募集

→ 採用者には、最大30万円の追加研究費を支給

プロジェクト内競争的資金

目的：

- ✓ 挑戦的・融合的な研究に挑む姿勢を醸成する
- ✓ 研究企画立案・計画書作成力及びプレゼンテーション能力の向上を図る
- ✓ 研究費の追加支援による研究の発展を図る

「次の環境」協創コース
「フューチャーデザイン演習」履修

- ◆ 学生と社会人との対話から、「協創」する場
- ◆ 文理融合による新たな展開を、大学と企業の連携体制から「協創」する場

自己の研究テーマを基にした、より挑戦的・融合的な研究計画、企業との共同研究への発展計画を提案

事業統括にて審査

研究費の追加支援（事業統括配分経費）

＜研究進捗報告＞
多様な分野の研究者等による議論の場

挑戦的・融合的な研究へと発展

キャリア形成支援内容

✓ 産学連携インターンシップ

アドバンスト・リベラルアーツ科目群：「次の環境」協創コース「ミッション研究」を通して共同研究を発展させ、インターンとして参画も可能

✓ キャリア形成ガイダンス、企業交流会の開催

✓ **海外インターンシップ・海外留学・海外交流支援**

プロジェクトへの応募時に、自らの研究課題を海外で発展させる海外活動計画案を提出（採用審査の対象）

↓

採用後、活動計画を具体化し、渡航（渡航費用40万円を支援）

（運営チームがサポートします）

→ 国際性の涵養、国際人の養成、国際共同研究への発展

海外インターンシップ・海外留学・海外交流支援

目的：

- ✓ 他者や異文化を理解し、協働、切磋琢磨できる真の国際人を養成する（国際性の涵養）
- ✓ 研究者としての挑戦性、自立精神（主体性）を醸成する
- ✓ 国際共同研究への発展を図る

応募書類に、海外活動計画（自らの研究課題を海外でどのように発展させるか）を記載
→ 採用審査項目

事業統括の下、プロジェクト運営委員会（学内外有識者が参画）にて審査

観点
- ✓ 国際性の素養、異文化理解
- ✓ 国際的な研究者を目指す姿勢

選抜されたプロジェクト生は、自ら活動計画を具体化する
- ✓ 海外の研究者の調査
- ✓ 訪問先の選定
- ✓ 候補先研究者への研究内容の紹介や依頼
- ✓ 訪問日程や内容の調整

運営チームによるサポート体制
- ✓ 大規模論文データベースによる研究者調査方法の提供
- ✓ 海外協定大学の研究者リストの提供

渡航（旅費：事業統括配分経費）

応募資格・募集人数

募集人数：10名

2023年度春学期もしくは秋学期に本学大学院博士後期課程に入学予定の者、または2023年4月1日時点において、一貫制博士後期課程３年次に在学予定の者（転入学予定者含む）

なお、休学期間は、上記標準修業年に含まない。

- ✓ 応募資格を満たせば、所属研究科や研究分野は問いません
- ✓ 誰にでも応募のチャンスがあります
- ✓ 社会人も申請可
- ✓ 年齢制限はなし

★ 2023年度中に支援対象学生に欠員が生じる場合は、今回の審査結果を踏まえて、追加採用する場合がある。その場合、支援開始時点で休学している者は、追加採用の対象としない。

★フェローシップ制度とは異なり、 日本学術振興会特別研究員DC1の申請を要件としません。

応募要件（除外者）

2023年4月1日時点に次のいずれかの身分等を有する（見込みの）者は除きます。

（１） 独立行政法人日本学術振興会特別研究員

（２） 国費外国人留学生等制度による支援を受ける留学生

（３） 本国からの奨学金等の支援を受ける留学生

（４） 研究専念義務が生じるその他奨学金、奨励金受給者

（５） 所属機関から生活費相当額として年間240万円を超える給与、役員報酬又はその他の安定的な収入を得ている者

（６） その他本事業の支援対象外となる者

＊ 同志社大学大学院博士後期課程若手研究者育成フェローシップ制度との併給はできません。

＊ 資格確認のために、収入に関する証明書類等の提出を求めることがあります。

選考、審査

提出書類：

(1) **申請書**：所属、IDなどの個人情報（Microsoft Formsへ入力）
(2) **志望理由及び研究計画書（所定様式）**：※本文は10.5ポイントで記載
- 志望理由
- 海外活動計画
  （海外インターンシップ、海外留学、海外交流等の企画提案）
- 研究計画
  （社会課題を解決するアプローチについての構想など）

審査：

(1) 提出された申請書、志望理由及び研究計画書をもとにした書類審査
(2) プレゼンテーション

審査の観点

（１）志望理由

- ✓ 目指す研究者像を明確に描けているか
- ✓ プロジェクトへの取り組み方が挑戦的・融合的であるか

（２）海外活動計画

- ✓ 自身の研究の国際的な位置づけが把握できているか
- ✓ 研究の位置付け、課題を踏まえた海外活動になっているか

（３）研究計画

- ✓ 研究の位置づけ、課題を把握できているか
- ✓ 研究方法は適切で、研究費の使途に妥当性があるか
- ✓ 研究計画に特色・独創性があるか
- ✓ 社会課題を把握したうえで、解決策のアイディアを提案できているか

応募に際しての注意事項

✓ 事業の目的を理解した上で応募してください

① 既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な研究を支援

→ 将来の研究者像に向けて、本PJで、どんなことに挑戦し、融合的な研究を行うのか？

② 研究に専念できる経済的環境の整備

③ 多様なキャリアパスで活躍できる博士人材へと導く

＊単なる経済的支援のプログラムではありません

✓ 審査員は、文系／理系の教員に加え、外部企業の方によって構成

→ 分野外の方が理解できる書き方が重要！

× 解るはず、という思い込み

解っているのは自分だけ

支援対象学生の義務

【支援期間】
（１） 同志社大学研究倫理規準を遵守すること。
（２） 同志社大学における研究活動上の不正行為への対応に関する規程に定める責務を果たすこと。
（３） 本学及び科学技術振興機構が指定する研究倫理教育を履修すること。
（４） 事業統括が指定するキャリア形成ガイダンス、企業交流会等のキャリア形成支援プログラムに参加すること。
（５） 高等研究教育院のアドバンスト・リベラルアーツ科目群に設置するキャリア形成支援科目のうち事業統括が指定する科目を履修すること。(フューチャーデザイン演習：必修)
（６） 支援対象学生が計画し、事業統括が承認した海外活動を行うこと。
（７） 科学技術振興機構が本事業のために実施する学生交流会等の諸行事に参加すること。
（８） 科学技術振興機構及び本学が実施する各種調査に協力すること。
（９） 学会等への参加、論文の投稿、口頭発表及び研究論文のセルフアーカイブを積極的に行うこと。
（10） 活動報告書を事業統括に毎年度提出すること。
（11） 文部科学省科学技術・学術政策研究所（NISTEP）の博士人材データベース（JGRAD）（以下「JGRAD」という。）に登録すること。

【支援終了後】
（１） 本学及び科学技術振興機構が実施する博士課程修了後の追跡調査に協力すること。
（２） JGRADの情報を逐次更新すること。

支援プログラム（スケジュール）

4月：	個人面談（春）の実施
4月～5月：	採用者説明会、個人面談
5月：	研究成果報告会
6月～７月：	プロジェクト内競争的資金（研究提案）の公募
8月：	コミュニケーション及びプレゼンテーション能力研修
9月：	個人面談（中間）の実施
10月～2月：	「フューチャーデザイン演習」履修
8月～1月：	企業交流会、キャリア形成ガイダンス
3月：	海外活動報告会

＊ スケージュールは凡その予定です

若手研究者育成フェローシップ制度との比較－１

同志社大学大学院博士後期課程若手研究者育成フェローシップ制度

- ✓ 処遇向上
- ✓ キャリア形成支援

→

同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト

- ✓ 処遇向上
- ✓ キャリア形成支援

＋

「既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な研究」を支援

- ✓ 挑戦性
- ✓ 国際性

1. 課題解決の分野横断的アプローチ構想の提案を審査
   異分野研究者へのプレゼンと相互ディスカッション
2. プロジェクト内競争的資金による支援「挑戦的・融合型研究加速経費」
   挑戦的・融合的な研究、企業との共同研究への発展計画を募集、審査
   → 研究費の追加支援（事業統括配分経費）
3. 海外インターンシップ・海外留学・海外交流を支援
   海外活動計画の提案、審査 → 国際性の涵養

若手研究者育成フェローシップ制度との比較－２

	次世代研究者挑戦的研究ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ	若手研究者育成フェローシップ制度
目　的	博士学生の自由で挑戦的・融合的な研究を支援し、優秀な博士人材が様々なキャリアで活躍できるよう研究力向上や研究者能力開発を促進	将来の我が国の科学技術・イノベーション創出を担う博士後期課程学生の処遇向上とキャリアパスの支援
生活費相当額（年額）	１８０万円	１８０万円
研究費（年額）	４０万円 ※選考により挑戦的・融合的研究加速経費として３０万円の増額の可能性あり。	２０万円
教育プログラムの 履修義務	フューチャーデザイン演習（必修２単位）	・協働する能力を高める科目（必修６単位） ・知覚を磨く科目（選択必修６単位）
その他の義務	海外活動 ※海外渡航費として４０万円を支援（実費）	
日本学術振興会 特別研究員の応募	必要としない	必要
募集年次	博士後期１年次	博士後期１年次

公募スケジュール

【2023年度 新規公募】

募集期間：2023年1月6日（金）～ 1月20日（金）17時（日本時間）
【締切厳守】

書類審査　　：2023年1月下旬～3月上旬
プレゼンテーション：2023年2月3日（金）13:00 – 16:00
結果通知　　：2023年3月上旬

応募手続き、書類提出方法

Microsoft formsより、必要事項を入力の上、
志望理由及び研究計画書を添えて申請してください。

質問等、問い合わせ先

同志社大学 研究開発推進機構研究企画課
大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト
運営事務局

TEL： 0774-65-8257
E-mail: dfs-spring@mail.doshisha.ac.jp